

かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさきふれあい館 川崎市ふれあい館		
20-2			

エリア	田島地区 桜本・浜町	シーズン	通年
		日時	

目的	☐ 観る ☒ 遊ぶ・体験する ☐ 食べる ☒ その他
宝物定義	☐ ものづくり ☒ イベント・祭り ☐ 味づくり ☒ にぎわい ☒ 現代の文化的なもの ☐ 港めぐり ☒ 歴史的なもの ☐ 人物



写真提供：川崎市ふれあい館

所在地	川崎区桜本1-5-6
問い合わせ	川崎市ふれあい館
TEL	044-276-4800
FAX	044-287-2045
E-mail	fureaikan@seikyusha.com
URL	http://www.seikyusha.com/fureai/
交通	JR川崎駅より市バス「大島四ツ角」または臨港バス「四ツ角」下車徒歩3分



基礎情報

■日本人と韓国・朝鮮人を主とする在日外国人が、同じ川崎市民として、子供からお年寄りまで相互にふれあい共生をめざす全国初となった在日外国人と地元住民の交流施設。昭和63年(1988)に設立された。相互理解は互いの歴史・文化の理解から始まるものであり、ふれあい館では民族文化についての各種講座や行事を開催するほか、会議室・文化交流室などの利用もできる。

■平成18年4月からは、ふれあい館・桜本こども文化センターの指定管理者として「社会福祉法人青丘社」が管理運営を行っている。

由来・エピソード

■川崎の桜本地区周辺には、大正時代から第二次大戦中にかけて多くの韓国・朝鮮人が移り住み、今では2世、3世へと世代交代も進んでいる。韓国・朝鮮人を主とする在日外国人と日本人が、相互の歴史・文化を理解し、ふれあい、基本的人権尊重の精神に基づいた共に生きる地域社会を創造することを目的として、昭和63年(1988)3月に定められた「川崎市ふれあい館条例」に基づき、地域の児童の健全育成を目的とした桜本こども文化センターを併設して川崎市ふれあい館が設立された。

■在日の韓国・朝鮮人との交流や支援のほか、「キムチのつけ方」「コリア料理文化について」などの韓国・朝鮮の文化にまつわる講座の開催や歴史・文化等に関する資料の展示などを主な活動内容としている。

■OBやOGがボランティアで、在日外国人の子供たちの相談にのるなど、地域ぐるみで在日外国人を手助けしている。もともとは在日の韓国・朝鮮人の人々を対象としていたが、最近では南米や東南アジアなどから川崎へと移り住む人々も多く、諸外国の在日外国人のよりどころとなっている。

■ふれあい館資料室では、在日の韓国・朝鮮の人々の歴史に関連する書籍や資料が揃い、HP上での資料検索も可能。また、平成18年(2006)4月に開設したヴァーチャルサイト「川崎在日コリアン生活文化資料館」では、在日高齢者を囲んで多くの日本人市民と共に「世代と民族をつなぐ学習・交流プログラム」を実践し、その学習内容の情報発信と共有を図っている。

補足・その他

■開館時間は9:30～21:00（日曜祝日9:30～18:00）、年末・年始は休館。

■講座への参加、施設の利用にはふれあい館への申し込みが必要。各種会合など団体利用の場合は使用日の3ヶ月前から3日前までに要申込のこと（受付時間は休館日を除く開館時間内）。

関連シート

(20-1) 桜本商店街日本のまつり
 (20-4) コリアタウン
 (20-5) 韓国朝鮮料理